

伶楽舎

2021年
11月30日(火) 18時30分開演
17時45分開場

雅楽で舞う 雅楽と踊る

第一部 古典雅楽 | 舞楽

舞楽 青海波

舞楽 陵王

〈演奏〉伶楽舎

第二部 現代雅楽×ダンス

権代敦彦作曲 彼岸の時間

猿谷紀郎作曲 綸 綏

〈演奏〉伶楽舎

〈ダンス〉森山開次

碓井菜央 榎田留以
引間文佳 南帆乃佳

森山開次



©TairaTairadate

初演時より ©Yas 写真提供：国際交流基金 ※今回の公演は、新しい美術による新演出となります。

初演 国際交流基金主催「ジャポニスム 2018：響きあう魂」
〈企画〉KAJIMOTO / 〈美術作品〉VOID (大松真言)

主催・伶楽舎

制作協力・東京コンサーツ



お問合せ

東京コンサーツ 03・3200・9755 (平日 11:00~16:00)

会場 テアトロ・ジーリオ・ショウワ 小田急線新百合ヶ丘駅より徒歩4分・昭和音楽大学南校舎内

指定席 S席 5,000円 A席 4,000円 B席 3,000円 学生席 2,000円 *10月15日(金)発売

チケット電話予約 カンフェティチケットセンター

0120・240・540

平日 10:00 ~ 18:00 オペレーター対応

オンラインチケットサービス カンフェティ

<http://confetti-web.com/TOKYO-CONCERTS>

カンフェティ 東京コンサーツ

検索



雅楽で舞う 雅楽と踊る

伶楽舎 × 森山開次



©Yas 写真提供：国際交流基金

2018年は雅楽にとって変革の年だった。なぜなら世界の芸術の中心であるフランス・パリに、二つの重要な雅楽団体がほぼ同時に来たことで、日本には複数形の《雅楽》があるということが世界に知れ渡ったからである。周知のように、1955年に重要無形文化財に指定された《雅楽》は、宮内庁式部職楽部の上演に限ると定められており、これに基づいて2009年のユネスコの無形文化遺産のリストにも楽部のみが登録された。こうした背景から、世界では楽部が「正統」と宣伝される傾向が強まっている。ところが、フランスの「正統」である国立フィルハーモニー・ド・パリの大ホールでは、2018年9月に〈皇室の雅楽〉(楽部)、10月に〈雅楽〉(伶楽舎 × 森山開次)が上演された。そして終了時に「ブラボー」が連呼されたのは、後者であった。一つの雅楽の宇宙を描く伶楽舎と、その宇宙で舞う森山開次に魅了された聴衆は、《雅楽》の現在と未来を瞬時に理解したのだ。

鈴木聖子 (大阪大学大学院助教、当時パリ・ディドロ大学助教)



伶楽舎 Reigakusha

1985年に発足した雅楽演奏グループ。芝祐靖が創立し、長く音楽監督をつとめた。現音楽監督・宮田まゆみ。発足以来、現行の雅楽古典曲だけでなく、廃絶曲の復曲や正倉院楽器の復元演奏、現代作品の演奏にも積極的に取り組み、これまでに湯浅譲二、一柳慧、池辺晋一郎、猿谷紀郎、伊左治直など様々な作曲家に新作を委嘱。武満徹「秋庭歌一具」の演奏で2002年中島健蔵音楽賞特別賞受賞。第16回(2016年度)佐治敬三賞、第50回(2020年)ENEOS音楽賞邦楽部門受賞。最近では「芝祐靖の世界～ライブ配信」(音のVR)など新たな試みを行っている。他に解説や体験を交えた親しみやすいコンサート、学校での公演なども多く行い、雅楽への理解と普及に努めている。



森山開次 Kaiji Moriyama

21歳でダンスを始める。自身の演出振付するダンス作品『KATANA』で2005年ニューヨークタイムズ紙にて「驚異のダンサー」と評される。2013年『曼荼羅の宇宙』にて芸術選奨舞踊部門文部科学大臣新人賞他3賞受賞。2019年『ドン・ジョヴァンニ』でオペラ初演出、2020年新国立劇場バレエ団『竜宮』演出振付。2021年TOKYO2020パラリンピック開会式演出・チーフ振付のほか、カイヤ・サーリアホ作曲オペラ『Only the Sound Remains』ヴェネチア・ビエンナーレ公演にソロダンサーとして出演など、ダンサー・演出家の両面で積極的に活動。



©Sadato ISHIZUKA

森山開次公式サイト <http://kaijimoriyama.com/>



確井 菜央 Nao Usui

伶楽舎 × 森山開次 Paris公演にて森山開次公演に参加、『ドン・ジョヴァンニ』、『星の王子さま KAATDANCE SERIES 2020』に続き今作となる。日本女子体育大学舞踊学科卒業後、舞踊公演、演劇、ミュージカルを中心に活動。主な出演作品に『イヌビト〜犬人〜』『SHOW TIME』『ジャックザリッパー』『星の大地に降る涙』『私は真悟』、東京2020オリンピック開会式など。また、振付集団HIDALIの一員として様々な現場で作品創りも行う。



梶田留以 Rui Kajita

福島県出身。バレエを安部仁子に師事。大阪芸術大学舞台芸術学科舞踊コースに入学し、バレエを堀内充、望月則彦に、モダンバレエを加藤きよ子に師事。卒業後、新潟市芸文文化会館専属舞踊団 Noism に所属。2016年より東京に拠点を移し、遠藤康行、森山開次、柳本雅寛等の作品に出演。ダンサーとして活動する傍ら、講師、振付アシスタントとしても活躍中。現在フリーランス。



引間文佳 Ayaka Hikima

幼少より新体操を始め、2009年に日本代表に選出。国内外の大会にて成績を収める。2015年、森山開次演出『サーカス』をきっかけに本格的にダンサーとして舞台に立つ。その後、白井晃、遠藤康行、近藤良平、串田和美、フィリップ・ドゥクフレ、インバル・ピント & アブシャロム・ポラック等の国内外で活躍する演出・振付家の作品に出演。映画『8日で死んだ怪獣の12日の物語』(監督：岩井俊二)では怪獣ダンサーとして出演し、振付も担当した。



南 帆乃佳 Honoka Minami

幼少より平多利江に師事。全国舞踊コンクール第1位他多数受賞。2013年文化庁新進芸術家海外研修員(オランダ)。2018年筑波大学体育専門学群卒業後、フリーランスダンサーとして活動開始。これまでに、森山開次演出『ドン・ジョヴァンニ』、平山素子『Sarcophagas』、2021年横浜ダンスコレクション受賞作品井田亜彩実『Species 一種』、東京2020パラリンピック開会式他多数出演。東京都立総合芸術高等学校特別専門講師。



権代敦彦 Atsuhiko Gondai

カトリック信仰に根ざしつつも、「有限の音楽時間」における「無限・永遠」をテーマに、様々な宗教を横断する独自の死生観・時空観による作品を作曲。ダンス分野では、これまでにリン・ファイミン(林憶民)+クラウド・ゲイト・ダンス・シアター(雲門舞集)、金森穰+Noism等とのコラボレーションがある。



猿谷紀郎 Toshiro Saruya

慶應義塾大学を経て、ジュリアード音楽院作曲科、同大学院を卒業。92年サントリーホール国際作曲委嘱シリーズにおいて初演された《息の綾》で一躍その名を知られることとなった。芥川作曲賞、出光音楽賞、尾高賞、佐治敬三賞など受賞。2014年には、第62回伊勢神宮式年遷宮の奉祝曲(交響詩「浄園の祈り」)で3度目の尾高賞を受賞。09年より6年間NHK・FM「現代の音楽」のパーソナリティーを務めた。大阪教育大学准教授。

ご来場にあたっては、新型コロナウイルス感染症予防対策へのご理解とご協力をお願いいたします。

一般社団法人伶楽舎

〒160-0012 東京都新宿区南元町 19-2 千日谷会堂内
TEL/FAX 03-5269-2011

<https://reigakusha.com>



Facebook
@reigakusha



テアトロ・ジーリオ・ショウワ 交通案内

〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生 1-11-1

小田急線 新百合ヶ丘駅 南口より徒歩 4 分
昭和音楽大学南校舎内

- ▶ 新宿駅から 22分 (小田急線快速急行利用時)
- ▶ 渋谷駅から 25分 (下北沢駅乗換 井の頭線急行・小田急線快速急行利用時)
- ▶ 横浜駅から 44分 (大和駅乗換 相鉄本線特急・小田急線快速急行利用時)

